

平成26年度 第2回知立市図書館協議会 議事録

1. 日時・場所

平成27年1月28日(水) 午前10時00分～午前11時50分
知立市図書館2階 視聴覚室

2. 出席者

委員：神谷富貴子、津崎千秋、野村典子、朝倉清一、松尾恵子、
日比野進、高井富夫、武井繁樹(欠席者：竹本美保子)
事務局：川合教育長、石川教育部長、鶴田文化課長、近藤課長補佐、
土田主事、上田主事

3. 協議事項

- (1) 平成26年度事業実績報告及び今後の事業計画について
- (2) 平成27年度事業計画(案)について
- (3) 知立市子ども読書活動推進計画について
- (4) その他

4. 概要及び経過

(午前10時00分開会)

進行：近藤課長補佐

- (1) 教育長あいさつ

- (2) 会長あいさつ

- (3) 協議事項

協議事項の概要は次のとおり

協議事項(1)

朝倉会長 協議事項(1)について、事務局より説明をお願いします。

事務局 平成26年度事業実績について、資料にもとづいて説明。

朝倉会長 協議事項(1)について、質問等がありますか。

川合教育長 5冊から10冊になったことによって、課題として感じていることはありま

すか。

事務局 特定分野の本が一度に借りられることは以前から危惧していましたが、旅行ガイドが急激に減った時期がありました。その際は、閉架から2～3年前のガイドブックを出して対応しました。絵本については、それほど影響はでませんでした。閉架に入れる冊数が減ったので、手にとられなかった良い本を借りてもらえる機会になったと思います。

鶴田課長 再度、広報でも借り方をお願いをしようと考えています。

日比野委員 10冊貸出により、1枚のカードで数人分の冊数をまかなえるようになりました。利用数が減り、貸出数が伸びるという結果になるのは当然であり、25年度と26年度とを対比させることはそれほど意味はありません。26年度と来年度との推移を見ていかなければいけません。登録者数の増加も単年度で見るのは意味がありません。対人口数や対世帯数で見のも一つの方法です。60代以上は増加しているとのことでしたが、良いニュースですね。公共図書館は社会教育施設であるとともに、民生施設だと考えています。公民館などでは、グループに入らないと活動できませんが、図書館は一人で好きに過ごせるという意味で都合の良い施設です。子どものサービスに力を入れているようですが、これからの視点として、先ほどの「戦争を語る会」のような高齢者に対するサービスも必要だと思います。その中から昔語りのようなものを引き出し、終活に対する援助をするのも一つの方向としておもしろいのではないのでしょうか。

事務局 読書は脈々と続いていくものだと考えています。子どもから親になって、高齢者になってと繋がっていく活動です。高齢者サービスにおいて図書館がどういう役割をしていくのだろうかというところも含め、考えていきたいです。

川合教育長 今年から始まったレシート広告事業についてこれまでの状況を説明してください。

事務局 6月は2件だったのですが、それ以降は1月まで3枠とも埋まっています。2月も3枠申込み済みです。3月は2枠申込みがあり、1枠空いています。1月28日現在、84,000円の歳入がありました。年度で見ると9万円近くを見込んでいます。

川合教育長 広告主はどのようなものが多いですか。

事務局 年間で文化会館が申し込んでいます。その他には、知立カルチャーセンター、学研教室(学習塾)、合気道の教室などがあります。本屋などに声を掛けながら、新規開拓もしていこうと思っています。

日比野委員 申込者の制限はありますか。

事務局 知立市広告掲載要綱に基づいています。

日比野委員 以前の私の経験で、印刷費が高くなって、効果がなくなったことがあります。

お金をかけないで作ることができる広告のしくみがいいですね。

事務局 J P E Gの画像を自身で作ってもらい、図書館はそれをレシートに移すだけです。印刷やデザインにはお金はかかっていません。なるべく余白を減らし、レシートの使用量が減るように工夫もしています。

日比野委員 以前明石議員が、雑誌カバーに広告を載せたらどうかと提案しており、おもしろいと思いました。

事務局 研究しているところです。

朝倉会長 登録者数減とブックスタートの関係をもう一度分かりやすく説明してください。

事務局 3・4ヶ月検診では、読み聞かせによる親子のふれあいの大切さを伝えるとともに、図書館の利用案内や絵本の時間の紹介をしています。スムーズに図書館に足を運んでもらえる流れづくりをしているつもりなのですが、更に丁寧な説明していかなければと感じています。

朝倉会長 原因を意識して、注意深く取り組む必要があると思います。

また、10冊になったことによる、予約の滞留はどうなっていますか。

事務局 正確な数値ではお答えできませんが、カウンターでの感覚では、予約の数は増えていると思います。人気の本は予約でまわっていくので、書架に並ばず、読みたい本がいつもないという感覚をもっている利用者があることも確かです。

朝倉会長 だからと言って新刊本をたくさん買う必要もありませんが、そのような現状があるという意識をもってもらえると良いと思います。

日比野委員 3点質問します。

新生児に本を与えるということですが、公共図書館の本の消毒について心配して質問されたことはありますか。

複本購入のルールはありますか。

納本と新聞などに出る新刊案内とのタイムラグはどのくらいですか。

事務局 消毒はしていません。カウンターにはアルコール消毒の液を置き、返却時に気になる汚れはふきとったり、修理にまわしたりしています。

複本については、6件以上の予約が入れば、購入を検討することとしています。3～4ヶ月以内には手元に届けたいと思っています。

タイムラグについては、装備をしてから納品をしているので、書店に並ぶより2～3週間遅く図書館に並びます。小説の中でも人気のものは早めに予約注文をしているので、1週間程の遅れです。

日比野委員 新生児への図書館サービスということになると、清潔面での配慮を説明できるようにしておかないと、ブックスタートでつまづくということにもつながるのではないのでしょうか。

- 松尾委員 ブックスタートを行っていますが、私が担当した中ではそのような質問をする人はいませんでした。むしろ、赤ちゃんは泣いたり騒いだりするので図書館に連れて行ってはいけませんよという質問はたくさん受けました。どんどん来てくださいますとお伝えしています。
- 野村委員 私もブックスタートを行っていますが、担当した方々で消毒について聞かれたことは一度もありません。
- 朝倉会長 企画を行ったときに、参加者がもった印象や要望が知りたいです。来年度の計画ではこのようなことを考えていきたいという思いが大切です。参加者の声を集め、「昨年の声」というのを図書館だよりなどに付け加えるのも良いと思います。

協議事項（２）

- 朝倉会長 それでは、協議事項（２）について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 平成２７年度事業実績について、資料にもとづいて説明。
- 朝倉会長 協議事項（２）について、質問等がありますか。
- 日比野委員 図書館だよりについてですが、もう少し魅力的な紙面になりませんか。見出しの活字やレイアウトなどの工夫をし、読みたいと思うような紙面づくりの努力がもう少し必要です。２月号のユネスコ文化遺産の記事で、知立の山車文楽について一言も触れていなかったのがもったいないと思いました。バレンタインデーの話のような季節ものは、図書館だよりに埋もれさせておくのはもったいないので、別刷りとして置いてもいいのではないのでしょうか。作成者を順番にまわすことで、職員の勉強にもなるのではないのでしょうか。
- 鶴田課長 紙面づくりについては、毎回同じ担当者が作成しており、紙面に収めることが目的になっている部分もあるので、考え直しながら進めたいです。
- ユネスコについては、平成２８年１１月ないし１２月に登録ということで間が空くこともあり、予告編のようなものとどめてほしいとこちらから指示しました。
- 芥川賞などのチラシはありますが、季節を感じるようなチラシはないので、また検討していきたいと思います。
- ブックポストについては、中央公民館事務室の一角にポストを設けることを考えましたが、運用が詰めきれず、予算もとれなかったので断念しました。夜に車を降りて正面玄関までいくのは危険だという意見も出ていたので、東玄関に設置することにしました。
- 郷土資料の充実については、データ閲覧用のパソコン、くらしのニュースの製本委託、中日新聞の三河版のデータ収集の予算要求をしましたが、通りませんでした。今後も要求をしていきます。

- 日比野委員 知立市図書館の貸出券で公民館の図書室も利用できるといいです。財政的に厳しいかもしれませんが、目標として共通化を考えていくべきです。
- 朝倉会長 できるところから始めましょう。
- 武井副会長 本の修理お助け会を開催したとのことですが、どの程度の内容を行ったのですか。
- 事務局 簡単な修理のみです。破れ、ページの取れ、セロテープはがしなどです。ほぼボンドでできる修理です。
- 武井副会長 修理の内容は利用者に周知できるような内容ですか。皆さん知らないと思うので、図書館での修理方法を利用者に分かるように紹介しても良いかもしれません。
- 事務局 資料館とのコラボレーションは今までなかったのですか。
- 事務局 戦争イベントでの合同開催は初めてですが、昔の道具体験などでコラボレーションしたことはあります。
- 武井副会長 常設展内の手にとれる所に関連する本があると便利ですね。以前、資料館と図書館を何度も行き来した経験があります。
- 事務局 今までの経験で、資料館関係の貸出のニーズは少ないという認識をもってしまっていたが、その場で本を見られることが大切だと感じました。管理も含めて検討します。
- 高井委員 知立東小学校には、外国籍の子どもがたくさんいます。外国籍の親たちは読み聞かせをしない傾向があるという実態がわかってきています。知立東小学校では高根保育園の先生から保育園での様子の聞き取りをしたり、日本語での読み聞かせを行ったりしています。母語が浸透していない子どもたちがこれからたくさん来ます。読書力をつけていくことが大切であることを思うと、学校と図書館とが協力して事業を進めていくのは今後の課題だと思っています。1月の多文化イベントはいいきっかけで、いろいろな良い点がみえてきました。
- 鶴田課長 今後の図書館のあり方を考えていく中で、指定管理者制度が知立に合っていると思いますか。ご意見をお聞かせ願いたい。
- 石川部長 今回の議会でそのような話題がでてきました。
- 日比野委員 小牧市長選では、指定管理が一つの争点にもなっています。指定管理制度は、平成11年の民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）を基にして、平成15年の地方自治法第244条の一部改正から始まりました。PFI法は、公がやるべき仕事を金儲けの種になるからと民間に丸投げするものです。知立では、文化会館のように収益が見込まれる施設についてはできるかもしれませんが、図書館には無料の原則があります。この無料の原則の根には、義務教育の無料があります。義務教育後も自

学自習を望む人たちに対し、その機会を平等に与えるために公立図書館があると思うのですが、利益を優先するような事業者に丸投げをしてよいのでしょうか。公立図書館に指定管理者制度は馴染まないと思うので反対です。

朝倉会長 全国の指定管理にしている所も、調べたところしっかりした運営をしているように思われますが、そこで働く従業員は利益追求の厳しい状況で働いているのではないのでしょうか。指定管理はともかくとして、いろいろな工夫によって、利用者にとってメリットのある図書館運営を行っている所も随分あります。知立市が指定管理について考える意味合いは何でしょうか。人件費等を縮小したいという意味で指定管理にしたいのか、ノウハウを生かすことによって住民の利益が得られるから指定管理にしたいのか、そういう元のところを提示することが先だと思います。

日比野委員 蔦屋の指定管理で有名な九州の武雄市長は佐賀県知事に立候補して落選しました。そのような手法が受け入れられているのか疑問が残るところです。経済優先や損得計算だけでやっていくのは図書館運営にはなじみません。

石川部長 図書館の担う役割は、地域の特色ある資料を集めることも重要な役割だという意見もいただいていますし、地域の住民に提供するものは影響が大きいものだと感じています。今のところ、指定管理については考えていません。

日比野委員 図書館は地域の調査室だと思っています。図書館のあらましの中の利用実績の中に、相談件数の項目がありません。

なかなか難しいと思いますが、参考資料室はアプローチの良い場所にし、職員配置を行えるとよいですね。1階カウンターにレファレンス担当を置くなど、レファレンス機能をもう少し上げる必要があると思います。

朝倉会長 それでは、協議事項（2）について、承認いただける方は拍手をお願いします。

（承認）

協議事項（3）

朝倉会長 その他なにかありますか。

事務局 3月で委員の任期が終わります。委員を選出するにあたり、来年度も続けていただける方はまたよろしく申し上げます。子ども読書活動推進計画策定についても、6月頃に委員に相談をしたいと思っています。

朝倉会長 昨年6月に学校図書館法が改正され、学校の司書には予算もしっかりつくようになりました。学校司書のレベルも高くしながら、図書館のレベルも上げていければと思います。

これにて、平成26年度第2回知立市図書館協議会を終わります。

（午前11時50分閉会）